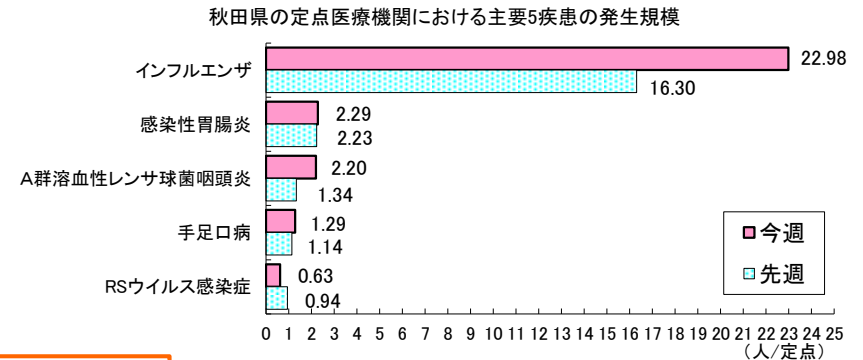




【第51週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. インフルエンザは、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、大仙、横手、湯沢で増加、能代、由利本荘で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で同規模です。保健所別では、大館、北秋田、能代、横手、湯沢で増加、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、大仙で同規模、横手で減少しています。



発生報告

次回(第52週)の週報は、2020年1月9日(木)に公表します。

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県		秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢			
	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減			
RSウイルス感染症	0.94	0.63	↘	1.00	1.29	↗	1.25		↘				0.67	0.67		2.25	1.50	↘					0.25	↗	2.67	1.00	↘	0.50	0.25	↘
インフルエンザ	16.30	22.98	↗	22.18	35.00	↗	24.00	34.57	↗	6.67	19.00	↗	14.50	11.00	↘	8.50	12.33	↗	26.00	25.83	↘	15.57	18.86	↗	8.40	18.20	↗	6.40	12.20	↗
咽頭結膜熱	0.26	0.26		0.43	0.14	↘	0.75	0.25	↘								1.00	↗	0.25	0.50	↗							0.50	0.25	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34	2.20	↗	1.71	2.43	↗	2.00	2.25	↗		0.50	↗		0.67	↗	3.50	8.25	↗	1.00	1.25	↗	1.00	1.00		0.67	0.33	↘	0.75	1.25	↗
感染性胃腸炎	2.23	2.29	↗	4.00	2.57	↘	0.25	1.25	↗	0.50	1.00	↗	4.00	8.00	↗	2.50	2.25	↘	0.75		↘	3.25	0.50	↘	1.33	1.67	↗	1.50	3.75	↗
水痘	0.43	0.46	↗	0.43	0.57	↗	0.25	0.75	↗										1.75	1.00	↘	1.00	1.00			0.33	↗			
手足口病	1.14	1.29	↗	1.29	2.29	↗							0.33	0.33		0.25	0.25					0.50	0.25	↘	2.00	4.00	↗	5.25	3.50	↘
伝染性紅斑	0.09	0.06	↘					0.25	↗													0.50	0.25	↘				0.25		↘
突発性発しん	0.29	0.14	↘	0.43	0.14	↘	0.75		↘										0.50	0.75	↗	0.25		↘	0.33	0.33				
ヘルパンギーナ	0.03		↘																									0.25		↘
流行性耳下腺炎	0.03		↘																0.25		↘									
川崎病		0.03	↗																	0.25	↗									
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎		0.25	↗		1.00	↗										*	*												1.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)		0.13	↗													*	*								1.00	↗				

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・五類感染症のウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)が大館保健所管内から1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が能代保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-51週 (人)		
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	20291	109	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	5		
	細菌性赤痢	132	2	
	腸管出血性大腸菌感染症	3683	38	
	腸チフス	35		
	バラチフス	19		
四類	E型肝炎	470	4	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	418	7	
	エキノコックス症	22		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	7		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	2		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	3		
	重症熱性血小板減少症候群	101		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎				
炭疽				

トピック

<年末年始に気をつけたい感染症>

年末年始は、帰省や旅行などで人の移動や集まりが多くなります。それに伴い、他の地域で流行している感染症が県内へ波及してくる可能性があるため、注意が必要です。

■感染症の発生状況と注意点

全国的にインフルエンザが流行しています。特に、人混みの中では人と人の距離が近づくため感染しやすくなります。また、ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒が増加する時期です。ノロウイルスは感染力が強く、少量のウイルスが付着した食品でも胃腸炎を引き起こします。また、患者の嘔吐物は放置すると乾燥して舞い上がり、感染を拡げる原因となります。

海外では、日本において発生していない動物や蚊・ダニなどが媒介する病気が流行している場合があります。渡航先ではむやみに野生動物に近よらず、蚊などに刺されないよう長袖・長ズボンを着用したり、虫よけスプレーを使用するなど注意が必要です。麻しんは日本国内からの排除が世界保健機関(WHO)に認定(2015年3月)されていますが、未だ流行・発生している地域もあります。厚生労働省等ではホームページ*で、各国の感染症や安全に関する情報を提供していますので、海外に旅行予定の方は事前に渡航先の状況を十分に確認しましょう。

■予防対策

- ・こまめに手洗いをしましょう。
- ・人混みでは、マスクの着用や咳エチケット(とっさの咳やくしゃみは、手ではなく袖や衣服の内側で口をカバーする)を心がけましょう。
- ・加熱が必要な食品は、中心部までしっかり加熱しましょう。
- ・嘔吐物等の消毒は、塩素系漂白剤が有効です。
- ・海外旅行に出かける方は、ワクチンの接種歴を確認し、必要なワクチンを接種しましょう。また、国内とは衛生状態が異なりますので、生水や加熱不十分な食事は避けるようにしましょう。
- ・バランスの取れた食生活と十分な睡眠を取り、体調管理に努めましょう。

※・厚生労働省検疫所(FORTH:For Traveler's Health)ホームページ:(年末年始に海外へ渡航される皆さまへ!)
<https://www.forth.go.jp/news/20191206.html>
 ・外務省海外安全ホームページ:(外務省が提供する医療・健康関連情報について)
https://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html

類型	疾患名	1週-51週 (人)		
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	46		
	つつが虫病	321	5	
	デング熱	451	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	314		
	日本脳炎	8		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病	1		
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	3		
	マラリア	54		
	野兔病			
	ライム病	17		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	2257	14		
レプトスピラ症	31			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アムーバ赤痢	804	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	317	1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2186	16	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	77	1	
	急性脳炎	858	5	
	クリプトスポリジウム症	19		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	183	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	887	5	
	後天性免疫不全症候群	1155	2	
	ジアルジア症	49	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	509	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	46		
	侵襲性肺炎球菌感染症	3113	17	1
	水痘(入院例に限る)	466	9	
	先天性風しん症候群	4		
	梅毒	6329	25	
	播種性クリプトコックス症	148	2	
破傷風	118	3		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	74			
百日咳	16335	193		
風しん	2288	3		
麻しん	742			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	25			



2019年/2020年シーズン (2019年第36週: 9月2日~)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

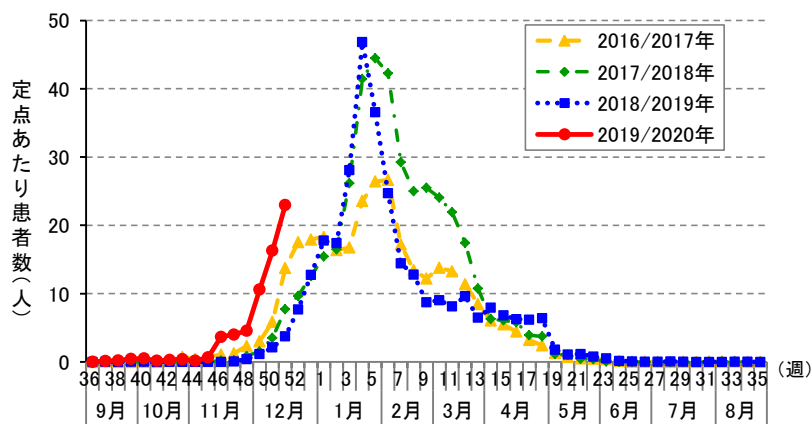


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
12/9~12/15 (50週)	12/16~12/22 (51週)	累計	12/2~12/8 (49週)	12/9~12/15 (50週)	累計
24	35	105	546	856	2,785

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告が10件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	型
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	大館市	有浦保育園	12/16	133名のうち 12名	37名のうち 0名	12名	12/9 ~ 12/16	A
2	大館市	南が丘こども園	12/16	118名のうち 21名	31名のうち 7名	28名	12/11 ~ 12/16	A
3	秋田市	勝平幼稚園 ひよこ保育園	12/16	168名のうち 44名	32名のうち 8名	52名	12/13 ~ 12/16	A
4	大仙市	協和まほろばこども園	12/16	108名のうち 11名	35名のうち 0名	11名	12/10 ~ 12/16	A
5	由利本荘市	石脇北保育園	12/17	85名のうち 10名	25名のうち 0名	10名	12/10 ~ 12/16	A
6	由利本荘市	清徳幼稚園 清徳保育園	12/17	153名のうち 12名	43名のうち 0名	12名	12/11 ~ 12/14	A
7	秋田市	こどものくに保育園	12/18	73名のうち 10名	26名のうち 2名	12名	12/12 ~ 12/18	A
8	仙北市	特別養護老人ホーム たざわこ清眺苑	12/18	80名のうち 1名	53名のうち 9名	10名	12/14 ~ 12/18	A
9	横手市	認定こども園こひつじ	12/20	86名のうち 10名	30名のうち 1名	11名	12/21 ~ 12/25	A
10	大仙市	認定こども園 四ツ屋こども園	12/21	109名のうち 10名	22名のうち 1名	11名	12/17 ~ 12/21	A

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(12月22日時点)の報告数
36施設: 社会福祉施設2、保育所等34

※社会福祉施設(老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設、他)における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	北秋田(19.00)、能代(11.00)、 秋田中央(12.33)、由利本荘(25.83)、 大仙(18.86)、横手(18.20)、 湯沢(12.20)	秋田市(35.00)、大館(34.57)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	秋田中央(8.25)
水痘	由利本荘(1.00)、大仙(1.00)	-
手足口病	-	湯沢(3.50)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		